

(別紙)

懐胎時期に関する証明書

子の氏名	
男女の別	1 男 2 女
生まれたとき	平成 年 月 日 午前 時 分 午後
母の氏名	
母の住所(※)	
母の生年月日(※)	昭和・平成 年 月 日

※ 診断をしたが出産に立ち会わなかった医師が、本証明書を交付する場合には、「子の氏名」・「男女の別」・「生まれたとき」の代わりに「母の住所」・「母の生年月日」を記載すること。

上記記載の子について

懐胎の時期(推定排卵日)は、平成 年 月 日から平成 年 月 日までと推定される。

算出根拠(1. 2. 3. のいずれかに丸印をつけてください)

1. 出生証明書に記された誕生日と妊娠週数から逆算した妊娠2週0日に相当する日は平成 年 月 日であり、この期日に前後各14日間ずつを加え算出した(注)。妊娠週日(妊娠週数)は、妊娠8週0日から妊娠11週6日までの間に計測された超音波検査による頭殿長を考慮して決定されている。

(注) 医師の判断により、診断時期、診断回数等からより正確な診断が可能なときは、前後各14日間より短い日数を加えることになる。

2. 不妊治療に対して行われる生殖補助医療の実施日を基に算出した。

3. その他(具体的にお書きください)

( )

平成 年 月 日

医師 (住所)

(氏名)

印

※ この証明書は、婚姻の解消又は取消後300日以内に出生した子の出生届に添付するために医師が作成するものです。